

『周期表』 (第5版) → 『周期表』 (第6版) への訂正

● 昨年 10 月に 2 名の日本人研究者がノーベル化学賞を受賞したこと等に伴い、人物写真を追加.

2He

文章

「ビッグバンや太陽での核融合で生成」 → 「ビッグバンや太陽での核融合で生成」

(理由：誤植を修正)

22Ti

イラストの隅に「右半分はTiO₂で表面処理」と記入

(理由：説明がないとわかりにくいため)

26Fe

イラスト

・ 磁気カード (新幹線チケット) のイラストを追加

(理由：構造材料としての鉄だけでなく、身近な暮らしに役立つ元素として、より興味をひくようにするため)

31Ga

イラスト

・ LED電球を追加

文章

1~2 行目を「GaN 半導体 (青色発光ダイオードや LED 電球)」

3 行目を「GaAs 半導体 (携帯電話など)」

(理由：LED電球の普及にともない、身近な用途の一つとして追加)

33As

イラスト

・ 携帯電話を新しいものに差し替え

(理由：デザインを刷新)

38Sr

文章

2～3行目「放射性同位体は骨しゅようの診断剤」→「放射性同位元素は骨しゅようの痛みの緩和剤」

(理由：より正確な表現に変更)

46Pd

文章

1行目と3行目を合わせて、次のような文章にして、1～2行目に入れる。

1～2行目「水素化，アセトアルデヒド合成やクロスカップリング触媒」

現在の2行目「900倍の・・・」を3行目に、4行目は現在のまま。

(理由：ノーベル化学賞受賞に関連して、より興味深い説明に変更)

54Xe

イラスト変更なし，イラストの隅に「小惑星探査機はやぶさ」と記入。

(理由：説明がないと気づかないこともあるため)

58Ce

文章（文章変更と順番変更）

2行目「カラーテレビの青色蛍光体」→「テレビの青色蛍光体，LED電球」

3行目「液晶テレビのガラス基盤の研磨剤」を追加

4行目「自動車の排ガスをきれいにする装置」を1行に

(理由：より具体的な用途として用いられているものを採用)

63Eu

イラスト

- ・ブラウン管テレビから液晶テレビに変更

(理由：現在，より流通しているテレビを採用)

104Rf

イラスト

- ・ラザフォードの顔

(理由：デザインを刷新)

105Db

イラスト

- ・ ロシアのドブナにある合同原子核研究所の地図
(理由：デザインを刷新)

106Sg

イラスト

- ・ シーボーグの顔
(理由：デザインを刷新)

文章

- 「多くの人工元素をつくったアメリカの物理学者シーボーグにちなむ」
→ 「9種類の人工元素をつくったアメリカの物理学者シーボーグにちなむ」
(理由：より具体的に明記)

107Bh

イラスト

- ・ ボーアの顔
(理由：デザインを刷新)

文章

- ・ 原子量を (267) から (272) に変更
(理由：日本化学会原子量委員会(2010)の「4桁の原子量表」にそろえた)

108Hs

イラスト

- ・ ドイツ・ヘッセン州の地図
(理由：デザインを刷新)
- ・ 原子量を (273) から (277) に変更
(理由：日本化学会原子量委員会(2010)の「4桁の原子量表」にそろえた)

109Mt

イラスト

- ・ マイトナーの顔

(理由：デザインを刷新)

- ・原子量を(268) から(276)

(理由：日本化学会原子量委員会(2010)の「4桁の原子量表」にそろえた)

110Ds

イラスト

- ・ドイツのダルムシュタットの地図

(理由：デザインを刷新)

- ・原子量を(269) から(281)に変更

(理由：日本化学会原子量委員会(2010)の「4桁の原子量表」にそろえた)

111Rg

イラスト

- ・レントゲンの顔

(理由：デザインを刷新)

- ・原子量を(272) から(280)に変更

(理由：日本化学会原子量委員会(2010)の「4桁の原子量表」にそろえた)

112Cn

イラスト

- ・コペルニクスの銅像

(理由：デザインを刷新)

文章

「地動説を唱えた天文学者コペルニクスにちなむ」

→「地動説を唱えたポーランドの天文学者コペルニクスにちなむ」

(理由：説明をより具体的に変更)

113 元素

イラスト

- ・理化学研究所の線形加速器
- ・Uut を追加

(理由：デザインを刷新)

●脚注

3 番目の文章「107 番 Bh 以降については，最長半減期をもつ同位体の質量数とその半減期を示してある．」を以下のように変更

→「107 番 **Bh** 以降の半減期は，最長半減期をもつ同位体のものを示してある．」

(理由：より正確な表記に変更)

4 番目として，以下の文章を追加

「**Unt**はラテン語の**113**番元素の意味 **Ununtrium** の略．114番から118番元素についても，1999年から2010年にかけてロシアのドブナ合同原子核研究所やアメリカとの合同チームによってつくられたとの報告がある．」

(理由：より正確な表記に変更，および追加事項を記載)

●その他

参考文献 1 1 として下記単行本を追加。

1 1) 羽場宏光監修，『イラスト図解：元素』，日東書院（2010）。

(理由：参考としたため，追加)

●第 6 版の発行日を追加

2011 年 3 月 25 日 第 6 版発行

以上